

人口9年連続減

昨年10月推計 減少率は過去最大

総務省は14日、昨年10月1日現在の人口推計を公表した。外国人も含めた総人口は前年より27万6千人減の1億2616万7千人で、9年連続の減少となった。減少率は0・22%で、減少数とともに比較可能な1950年以降で過去最大となった。

年齢別の人口割合では、15歳未満は12・1%（1521万人）、15〜64歳は59

■2019年10月1日現在の推計人口と前年比増減率（総務省まとめ。▼はマイナス）

	人口 (千人)	18年比 (%)
全国	126167	▼0.22
北海道	5250	▼0.68
青森	1246	▼1.31
岩手	1227	▼1.12
宮城	2306	▼0.40
秋田	966	▼1.48
山形	1078	▼1.15
福島	1846	▼0.98
茨城	2860	▼0.59
栃木	1934	▼0.61
群馬	1942	▼0.50
埼玉	7350	0.27
千葉	6259	0.08
東京	13921	0.71
神奈川	9198	0.24
新潟	2223	▼1.00
富山	1044	▼0.66
石川	1138	▼0.50
福井	768	▼0.78
山梨	811	▼0.80
長野	2049	▼0.70
岐阜	1987	▼0.51
静岡	3644	▼0.43
愛知	7552	0.21
三重	1781	▼0.58
滋賀	1414	0.11
京都	2583	▼0.31
大阪	8809	▼0.04
兵庫	5466	▼0.33
奈良	1330	▼0.66
和歌山	925	▼1.05
鳥取	556	▼0.86
岡山	674	▼0.84
広島	1890	▼0.46
山口	2804	▼0.46
徳島	1358	▼0.88
香川	728	▼1.09
愛媛	956	▼0.59
高知	1339	▼0.93
福岡	698	▼1.15
佐賀	5104	▼0.07
長崎	815	▼0.55
熊本	1327	▼1.05
大分	1748	▼0.53
宮崎	1135	▼0.71
鹿児島	1073	▼0.69
沖縄	1602	▼0.74
	1453	0.39

多くなった。同省統計局の担当者は、外国人労働者の受け入れを拡大する制度が昨年4月に始まったことも影響しているとみている。

また、令和生まれが総人口比0・3%の38万人と初めて統計にのぼった。明治、大正生まれの割合は0・9%（114万1千人）と、1%を割った。都道府県別の増減率では、東京が

0・71%増でトップ。40道府県で減少となり、秋田が1・48%減でワーストだった。（豊岡亮）